

甲陵高校部活動に係る活動方針

令和7年4月
北杜市立甲陵高等学校

1 部活動の目的

部活動は、体育及び文化的な活動を通して、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものである。学年を超えた生徒同士の交流の中で、生徒や教師等との好ましい人間関係の構築を図り、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めることを目的とする。さらに学校の枠を超えての活動を様々な学びの場とし、人格形成と人間力の育成を図ることを目的とする。

2 適切な運営について

(1) 活動計画

各部ごとに年間及び毎月の計画を作成して活動を行う。また、特別な事情がない限り、週休日の1日は活動休止日（以下、休養日という）を原則として計画を立案し、顧問と部員がよく話し合って活動計画を立てる。

(2) 指導・運営に係る体制

部活動の顧問（以下、部顧問という。）は本校の教職員が複数（複数の確保が難しい場合は生徒会担当者等が補助する）で担当する。部顧問は役割を分担するなどして過度の負担が生じないように努める。また、外部指導者も有効活用する。

3 合理的かつ効率的・効果的な活動の推進

運動部顧問及び外部指導者は、スポーツ医・科学の見地からは、トレーニング効果を得るために休養を適切に取ることが必要であること、また、過度の練習がスポーツ障害・外傷のリスクを高め、必ずしも体力・運動能力の向上につながらないこと等を正しく理解するとともに、技能や記録の向上等それぞれの目標を達成できるよう、競技種目の特性等を踏まえた科学的トレーニングの積極的な導入等により、休養を適切に取りつつ、短時間で効果が得られる指導を行う。

運動部、文化部ともに活動時間や内容を検討して効率的で効果的な活動を行い、活動時間は平日では2時間程度、学校の休業日は3時間程度とする。なお、部活動による活動の特殊性等は考慮する。また、校内模試の前日は学校全体で部活動を行わない日とし、学習との両立を図る。

4 適切な休養日等の設定

週休日のうち1日を休養日とすることを基本とする。また部顧問と部員でよく相談し、必要に応じて臨時の休養日を設けるなど適切な活動を行う。

5 参加する大会や練習試合等について

生徒の教育的意義、生徒や部顧問、保護者の負担等が過度とならないことを考慮して、参加する大会等を精査する。出場する大会名等は年間活動計画に明記して、シーズン期とシーズン期以外の部活動にメリハリをつけて活動する。

6 生徒のニーズを踏まえた環境の整備

- 校長は、生徒の多様なニーズに応じた活動を行うことができる部活動を設置する。その際、新たに部活動を創部する場合には、生徒・教員数の動向、生徒や保護者の意向、継続的な運営について十分に検討する。
- 校長は、部員数の減少等に伴い、大会等に出場する人数を満たさなくなった場合は、生徒の活動機会が損なわれることがないよう、複数校合同チームや合同練習などの取組も検討する。

7 その他

- 部活動の指導に当たっては、いかなる場合も体罰を行ってはならない。威圧的な言動等による指導では生徒の主体性は育たないことを忘れずに指導に当たる。
- 部顧問等は無理のない安全な活動メニューの作成を心掛け、適切な指導方法、コミュニケーションの充実等により、生徒の意欲や自主的、自発的な活動、また安全意識の高揚を促すように努める。